

企 画 書

志摩市「観光人材育成事業」(案)

三重県観光局

三重の観光プロデューサー

西川 哲司

(平成22年6月8日作成)

1. 事業趣旨

- ・国においては、観光立国の実現に向けた政策の推進を更に強化することとしており、2009年12月に策定された「新成長戦略」において、観光は6つの成長戦略の一つとして位置づけられた。
- ・伊勢志摩地域においては、伊勢神宮・遷宮が平成25年10月に行われる。伊勢志摩地域への入り込み客数は、平成18年に行われた「神宮・お木曳き」以降増加傾向にある。
- ・志摩市として、「住んでよかった、訪れてよかった、また訪れたい」の観光地づくりをめざし、行政と観光事業者そして地域住民が連携・協働を図り、新たな観光地づくりを推進している。その中であって、「観光人材」の育成は、喫緊の課題であり、人材育成施策の構築が求められている。

2. 事業概要

「観光地マネージャー（仮称）育成講座」

■目的

- ・現場で主体的に観光地づくりを推進できる人材を、志摩市で計画的・効率的に育成する

■対象

- ・志摩市の観光協会、旅館組合、商工会、水産・農業関係団体・事業者のやる気のある20歳～40歳までの男性及び女性

■手法

- ・座学（集合教育）と、事例研究（現地視察）を組み合わせる。
- ・原則として1年間単位で12回（毎月定例日）開催する。
- ・座学（集合教育）は、講義1時間+ディスカッション1時間とする。
- ・テーマは、観光地マネージャーに必要と思われる12テーマを設置する
*個別テーマは後述する。
- ・欠席者に対しては、講義議事録やテープを渡して、自己学習を支援する。

■コーディネーター

- ・三重の観光プロデューサーが担う。

■講師陣

- ・各講義内容に合わせた講師を要請する。
*主な講師陣は後述する。

■官学との連携

- ・三重県政策部「美し国おこし・三重」推進室との連携
- ・三重大学、鈴鹿国際大学等との連携

■観光人材育成後の活用方法

- ・志摩市と提携大学（未定）が連携し、「観光地マネージャー（仮称）認定制度」を創設する。
- ・本カリキュラム受講者修了者は、「観光地マネージャー（仮称）」に認定し、登録する。

*参考資料／北海道大学観光学高等研究センター
「観光創造士」認定制度

3、コスト

- 事業内容を精査した後算出する。

4、運営組織

■運営組織（案）

- ① 志摩市観光戦略室
- ② 志摩市観光協会
- ③ 志摩商工会

■具体的テーマ（案）

No	テーマ（案）	講義内容
1	観光地におけるリーダーシップの重要性	観光地の特性と、リーダーシップの意味を理解する。
2	旅行者・観光地の動向	近年の日本人の国内旅行、訪日外国人や人気観光地の動向について理解する。
3	観光地の仕組みと観光協会の役割	観光地に存在する組織（行政・民間）とその役割を理解する。また、行政予算と予算決定までのスケジュール、観光関係の補助事業の種類と申請方法について理解する。
4	観光統計の取り方	観光統計の重要性と、統計の取り方、統計の活用法（経済波及効果）について学ぶ
5	マーケティング	誘客のためのマーケティングについて理解する。
6	旅行会社と旅行商品	旅行会社の仕組・特徴と、旅行商品の企画から販売の仕組みを理解する。
7	商品企画演習	観光商品造成のスキルについて学ぶ。
8	コミュニケーション	口頭・文書によるコミュニケーション（観光地内）のポイントを学ぶ。
9	仲間づくり	若に人や地域住民を観光地づくりに参加してもらうための仲間づくりについて学ぶ。
10	ホスピタリティ	ホスピタリティの重要性と、ホスピタリティの向上手法、評価手法について学ぶ。
11	プロモーション（広報・宣伝含む）	広報と宣伝について効率的手法を学ぶ。
12	観光地の将来像	観光地の長期ビジョンづくりの重要性と、その手法について学ぶ。

■主な講師陣

- 1、テーマ：旅行会社と旅行商品
所属先：(株)観光販売システムズ
氏名：小高専務
- 2、テーマ：観光協会の役割
所属先：蒲郡市観光協会
氏名：遠山専務理事
- 3、テーマ：プロモーション（広報・宣伝）
所属先：(株)メディアアート
氏名：難波課長
- 4、テーマ：仲間づくり
所属先：もくもく手づくりファーム
氏名：木村社長
- 5、テーマ：観光地の将来ビジョン
所属先：(財)日本交通公社
氏名：梅川次長
- 6、テーマ：観光地の動向とリーダーシップ
所属先：(株)赤福
氏名：濱田社長
- 7、テーマ：マーケティング
所属先：紀北商工会
氏名：西村部長
- 8、テーマ：マーケティングと観光統計の取り方
所属先：高田短期大学
氏名：杉浦教授
- 9、テーマ：ホスピタリティ
所属先：鈴鹿国際大学
氏名：捧教授
- 10、テーマ：行政の役割
所属先：志摩市観光戦略室
氏名：水口室長
- 11、テーマ：観光地づくり
所属先：三重県観光局
氏名：西川プロデューサー